

平成二十一年度 津山市一般会計補正予算(第一次) 十億百六十七万円を可決

七月二日(木)に、平成二十一年度津山市一般会計補正予算(第一次)、平成二十一年度津山市下水道事業特別会計補正予算(第一次)が追加提案され、三日(金)に五名の議員が議案質疑を行いました。それぞれ議案は各常任委員会に付託、審査され、十五日(水)に、それぞれ議案は可決されました。

今回の補正予算は、現下の厳しい雇用・経済情勢に迅速に対応し、市民生活を守るための緊急経済対策として編成するものであり、国の平成二十一年度一般会計補正予算(第一号)で計上された「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を主な財源としています。一般会計補正予算(第一次)の補正予算額は、十億百六十七万円となり、補正後の一般会計予算総額は四百二十九億九千六百七十七万円、対前年同期と比較して三・三%増となっています。

実行性のある対策を速やかに！津山市内にお金が循環するように！

公明党津山市議団 原 行則



質問 教育費等で五億五千万円と大半を占めているが、その特徴と効果は。
答弁 地上デジタル放送対応型テレビ五百四十八台、電子黒板機能付地上デジ

タル放送対応型テレビ三十六台を、小中学校及び公共施設に導入することにより、情報通信技術の関心を向上させ、学習効果が期待できる。また、安心安全対策で幼稚園、公共施設にAEDを設置し、児童生徒の安全を守る。

質問 図書館費、五千九百九十万円の内容とその効果は。

答弁 現在、バーコードにより行っている図書館の資料管理を、データの書き込みと読み取りができるICチップを内蔵したシール状のICタグにより行う。主な効果は、貸し出しや返却手続きが早くなる。利用者が自分で貸し出し処理ができ、職員の貸し出し業務量を削減できる。

地域経済へ波及効果の大きい施策を

日本共産党津山市議団 久永良一



質問 今回の予算は、地域活性化・経済危機対策を目的にした補正予算(十億円)だが、中身は学校の備品や道路改良費などだ。いずれも、必要なことだ。

しかし、地域経済再生への大きな効果が出るものか疑問だ。津山の経済再生を図るためには、経済の主役であり雇用の七割を担っている中小企業、農業、林業の実態にあつた対策、実効性の高い、波及効果の大きい対策に力を入れなければならない。これまで提案してきた、地域材木を使用した地元業者による住宅建築は、森林の育成、林業振興とともに、様々な業種が関連するもの、地域経済への波及効果は大きい。補正予算に組むべきだ。

市長 確かに、有効な施策であり充実させるべきと考えるが、今しばらく待つてほしい。

領家などの道路・水路の予算が、なぜ緊急経済対策か

新風会 森岡和雄



質問 補正予算第一次について、補正額十億百六十七万円、これは国の臨時交付金八億一千万円に、市独自の上乗せをしたものだが、道路改良費の中に、領

家の周辺整備」があるとのことだが、いまだに、一部事務組合の議員すら選出されていないのに、こんな予算はおかしいのではないか。予算化しているのかどうか明確に。

答弁 経済危機対策臨時交付金という有利な財源を使って、領家及び周辺地区の要望の強かった水路、道路などの実施をするようにお願いをしていたが、現在の状況を鑑みて、先送りとさせていたこととした。

質問 ことが始まったら、要望に添えなければいけませんが、過去の市長やクリーンセンターの考えは、甘すぎると思われる。冷静に物事を考えるように。